

形容詞・形容動詞の活用 音便について

課題②

《形容詞》『体系古典文法』28ページ

★形容詞とは★

- ① 事物の「 」 「 」 「 」 」等を表す言葉である。
- ② 終止形(言い切りの形)が「 」(または「 」)である。
- ③ 下にくる語によって形が変化する(＝活用する)

★形容詞の活用 く活用とシク活用の2種類のみ!★

語	活用の種類	活					尾
		未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	
涼し	活用			し			
なし	活用			し			

★ク活用とシク活用の見分け方★

下に「なる」をつけてみて、連用形活用語尾が

「く(なる) ↓ク活用」「しく(なる) ↓シク活用

○次の形容詞は①「ク活用」か②「シク活用」か。①か②で答えよ。

- A 長し B をかし C 高し D 悲し E いみじ

A
B
C
D
E

《形容動詞》『体系古典文法』30ページ

★形容動詞とは★

- ① 事物の「 」 」を表す。
- ② 終止形(言い切りの形)が「 」(または「 」) 例..豊かなり/堂々たり
- ③ 下にくる語によって形が変化する(＝活用する)

★形容動詞の活用 たり活用とたり活用の2種類のみ!★

語	活用の種類	活					尾
		未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	
漫々たり	活用						
静かなり	活用						

【語例】

ナリ活用・・・ほのかなり あきらかなり おろかなり はるかなり
 あざやかなり こまやかなり さはやかなり
 美しげなり らうたげなり をかしげなり
 タリ活用・・・堂々たり 悠々たり 朗々たり
 整然たり 厳然たり 平然たり

《音便》『体系古典文法』34ページ

★音便とは

- ① 動詞の連用形、形容詞の連体形の語尾がイ音に変化
(例) 聞き^て (聞^て)

よき^人 (よ^人)

- ② 動詞の連用形、形容詞の連体形の語尾がウ音に変化
(例) 思ひ^て (思^て)

悲しく^て (悲^して)

- ③ 動詞の連用形・連体形、形容詞の連体形、形容動詞の連帯形の語尾が撥音(ン音)に変化
(例) 学び^て (学^で)

よかる^{めり} (よか^{めり})

- ④ 動詞の連用形の語尾が促音(ツ)とつまる音に変化
(例) 立ち^て (立^て)

あり^て (あ^て)